

# 特定有人国境離島漁村支援交付金

雇用を創出する  
ための取組

三浦湾地区漁業集落(長崎県対馬市)  
実施期間:平成30年度~令和3年度

## 取組の概要

業種:漁業及び海業

取組区分:事業拡大

事業:魚類養殖業・水産加工業(拡大分)  
飲食業・観光案内業(拡大以外分)

新規雇用者数(常勤): 1名



## 【取り組むに至った経緯】

加工部門の拡大のためには、安定的な原料の確保と新商品の開発が必要であった。

## 【対象となった経費】

設備費  
人件費

## 【取り組む際に生じた課題】

鮮魚の処理に対するイメージ(臭いなど)から、求人をかけてもなかなか応募がなかった。

## 【生じた課題への対応方法】

粘り強く求人を出し続け、問合せがあった際には、労働条件や企業理念を丁寧に説明した。

## 【取組みの効果】

畜養生け簀の増設により安定的な原料の確保が可能となったほか、整備した加工施設で低・未利用魚を活用した新商品も開発した。

## 【今後の展望】

自社周辺の漁業集落を巻き込んだ海業を展開するとともに、「獲る漁業」、「育てる漁業」、「見せる漁業」、「付加価値をつける漁業」をさらに発展させたい。

## 成功のポイント

私たち加工業者及び弊社従業員(売り手よし)、購入してくれる顧客(買い手よし)、魚を提供してくれる漁業者(世間よし)の「三方よし」の方針で経営していること。

【受賞歴】 Fish-1グランプリ ファストフィッシュ部門グランプリ(2019)  
ながさき水産業大賞 長崎県漁業協同組合連合会長賞(2020)  
第59回長崎県水産振興祭 水産庁長官賞(2021)  
長崎デザインアワード 入選(2021)

ほか

# 特定有人国境離島漁村支援交付金

雇用を創出する  
ための取組

勝本漁業集落(長崎県壱岐市)  
実施期間:平成29年度~令和3年度

## 取組の概要

業種: 漁業

取組区分: 起業

事業: 定置網漁業・観光定置網

新規雇用者数(常勤): 2名



### 【取り組むに至った経緯】

形骸化した組織を再編し、正式に起業するとともに、以前より検討されていた観光定置網を行い地域活性化を図った

### 【取り組む際に生じた課題】

集落内に観光事業を行った経験者がおらず、宣伝方法や周知活動などの停滞が見られた。

### 【取り組みの効果】

集落内で唯一の定置網漁業を本格的に操業することで、地域内の雇用の確保、地域の活性化が図れた。

### 【対象となった経費】

設備費・店舗等借料・人件費・燃油費・氷代・魚箱代・市場手数料

### 【生じた課題への対応方法】

観光事業を手掛ける勝本町漁協担当職員の助言や指導を受け、国民宿舎との連携や旅行業者のモニターツアーを行った。

### 【今後の展望】

定置網漁業は継続して営業を行うが、新型コロナウイルス感染症の影響で停滞している観光事業の回復が急務となっている。

## 成功のポイント

組織の再編により船長を正式に雇用出来たこと。

- 地元の漁業協同組合に観光事業に精通する担当者が勤務しており、密に連携出来たこと。

# 特定有人国境離島漁村支援交付金

雇用を創出する  
ための取組

奥浦漁業集落(長崎県五島市)  
実施期間:平成30年度~令和3年度

## 取組の概要

業種: 漁業

取組区分: 事業拡大

事業: 小型定置

新規雇用者数(常勤): 1名



## 【取り組むに至った経緯】

平成30年度の事業拡大にあたって乗組員一人を新規雇用し、水揚げ拡大を目指す。

## 【対象となった経費】

設備費  
人件費

## 【取り組む際に生じた課題】

水揚増に対応するため、漁船の機関換装や陸上作業に必要な機器類の整備を行う。

## 【生じた課題への対応方法】

小型定置(底層)の整備に伴い周年雇用が可能となり、安定雇用が確保できた。

## 【取り組みの効果】

機関換装及び機器整備により、水揚増に対応した作業効率向上が図れる。

## 【今後の展望】

奥浦漁業集落の主要漁業である定置網漁業の設備投資の負担軽減により、漁業経営が安定することで、漁業集落の維持・活性化に繋げる。

## 成功のポイント

小型定置網(底層)に取り組むことで、ブリ、ヒラス、アジ、イカに加え、新たな魚種増が期待でき、水揚量増加に繋がる。漁業従事者の新規雇用が図られるとともに、小型定置(底層)の整備に伴い周年雇用が可能となり、安定雇用が確保できる。

# 特定有人国境離島漁村支援交付金

雇用を創出する  
ための取組

富江漁業集落(長崎県五島市)  
実施期間:平成31年度～令和3年度

## 取組の概要

業種: 漁業

取組区分: 起業

事業: 小型定置

新規雇用者数(常勤): 2名



## 【取り組むに至った経緯】

平成31年度事業にて父経営の小型定置網を継承し、新漁場を1ヶ統増加し新たに小型定置網(つぼ網)を整備する。

## 【対象となった経費】

設備費  
人件費

## 【取り組む際に生じた課題】

水揚増に対応するため、漁船の機関換装の整備、小型定置網(つぼ網)の整備や中古船を導入する。

## 【生じた課題への対応方法】

小型定置網(つぼ網)の整備を行う事で、いままで素通りしていた魚を定置網内に誘導することが可能になり、水揚量、水揚高の増加を図った。

## 【取り組みの効果】

漁業従事者の新規雇用が図られるとともに、定置網の整備により、漁獲量の増加が期待され、新規雇用者の継続的な雇用に繋がる。

## 【今後の展望】

富江漁業集落において基幹漁業となる定置漁業の活性化が期待できるとともに、富江漁業集落の維持につながり、若者が主体となることで活性化も期待できる。

## 成功のポイント

機関換装で漁船の能力が向上することにより、漁労活動時間の短縮、漁獲物鮮度保持につながり、漁業所得が向上した。



# 特定有人国境離島漁村支援交付金

雇用を創出する  
ための取組

小値賀漁業集落(長崎県小値賀町)  
実施期間:令和元年度~令和3年度

## 取組の概要

業種: 漁業

取組区分: 起業

事業: 延縄漁業、曳縄漁業

新規雇用者数(常勤): 1名



## 【取り組むに至った経緯】

○独立型漁業に魅力を感じたことで、島に移住して漁業者として従事すべく、漁業研修制度を活用した。研修修了後、本交付金を活用した漁船リース等により、新規就業を果たした。

## 【取り組む際に生じた課題】

○新規就業して間もなく、燃油価格の高騰やコロナ禍の影響による魚価の低迷が、漁業経営を圧迫した。

○リース漁船は、中古船をしっかりと整備したもののだが、機関部等に多少の故障が発生し、その都度、修繕費用がかかっている。

## 【取り組みの効果】

○本交付金を活用したことにより、漁業経費の負担軽減につながり、厳しい水産業の情勢にも耐えながら、漁業経営を継続できている。

## 【対象となった経費】

○漁船リース料、燃料費、餌代、氷代、魚箱代、市場手数料など

## 【生じた課題への対応方法】

○燃油価格高騰対策補助金や輸送コスト支援補助金等の支援により、漁業経費の負担軽減が図られた。

○新規漁業就業者に対する町独自の経営サポート支援事業により、修繕費の1/2を支援し、負担が軽減されている。

## 【今後の展望】

○新規就業後から毎年水揚げ高が増加している。これは本人の技量、知識、気力が高まっている証拠と言える。R4年度には最新漁業機器を導入し、最先端技術(AIなど)システムとの併用により、さらなる漁獲高の増加を図る。

## 成功のポイント

○漁業研修時の指導者(親方)による徹底した操業研修や陸上での漁具作り等研修により、新規就業に必要な基礎的能力を身につけ、さらに就業後も親方に指導を仰げたことにより、漁業者としての資質を向上させている。

○就業した漁村には、同年代の新規就業者がいて、お互いに切磋琢磨できる環境がさらに操業意欲を高めることに繋がった。

○漁業研修時から新規就業後も継続したフォローアップを実施している。特に、新規就業者、指導漁業士、漁協、町との定例会では、お互いに現状における課題や悩み等を相談できる場として、精神的なサポートにもつながっている。

# 特定有人国境離島漁村支援交付金

雇用を創出する  
ための取組

有川地区漁業集落(長崎県新上五島町)  
実施期間:平成30年度~令和3年度

## 取組の概要

業種: 漁業

取組区分: 起業

事業: 定置網、刺網漁業

新規雇用者数(常勤): 2名



(小型定置網 側張一式)

## 【取り組むに至った経緯】

2018年の台風による被害で父が経営する定置漁業が廃業に追い込まれ、父から漁船、漁網を譲り受け不足する固定漁具を新規購入し、定置漁業を起業した。

## 【取り組む際に生じた課題】

譲り受けた漁網が古いものであったため、波浪時に破損のおそれがあった。

## 【取り組みの効果】

あらたな雇用の確保及び安定した漁獲を実現している。

## 【対象となった経費】

設備費、人件費、漁具費、燃料費、市場手数料、氷代、餌代

## 【生じた課題への対応方法】

近年の台風大型化、波浪状況に対応するため網の強度アップと潮流の抵抗軽減する網の改良をおこなった。

## 【今後の展望】

漁業の効率化と安定経営を目指し、地域の中核的漁業者となり集落の活性化を図りたい。

## 成功のポイント

受け継いだ漁場と漁具を漫然と使うのではなく、改良を加え近年の海況に対応している。

また、定置網の休漁期間となる時期は刺網漁業を導入することで経営の安定を図っている。

# 特定有人国境離島漁村支援交付金

雇用の創出を円滑に行うための環境整備

勝本漁業集落(長崎県壱岐市)  
実施期間:平成29年度~平成30年度

## 取組の概要

実施年度:平成29年度

取組内容:集落内の清掃、浮棧橋の塗装

取組実績:参加者延べ27名



## 【取り組むに至った経緯】

湯ノ本つぼ網組合が観光定置網を取り組むに当たり、発着所付近の清掃活動等を図り、観光客誘致の手助けを行う事とした。

## 【取り組む際に生じた課題】

高齢者が多く、参加人数が限られていた。

## 【取り組みの効果】

発着所周辺の除草作業や浮棧橋の塗装などを行ったことで、観光客から喜ばれ、誘致の強みとなった。

## 【対象となった経費】

資材費・消耗品費・人件費

## 【生じた課題への対応方法】

若手である、湯ノ本つぼ網組合の船長を中心に参加の呼びかけを行い、周囲の同意と事業への参加を得た。

## 【今後の展望】

新型コロナウイルス感染症の影響で観光客数が激減しているが、当時の賑わいを取り戻すべく地道な活動を行っていく。

## 成功のポイント

観光定置網を成功させたいという集落構成員の思いと、集落構成員をまとめ上げた船長の存在。

- 地元の漁業協同組合担当者の地域を思う気持ち。

# 特定有人国境離島漁村支援交付金

雇用の創出を円滑に行うための環境整備

富江漁業集落(長崎県五島市)  
実施期間:平成30年度

## 取組の概要

実施年度:平成30年度

取組内容:集落内の清掃

取組実績:参加者30名



## 【取り組むに至った経緯】

漁業就業者の高齢化が続いており、富江漁業集落が行う定期的活動等の環境整備を行う事により、新たな担い手の確保につなげる。

## 【対象となった経費】

消耗品  
人件費  
雑役務費

## 【取り組む際に生じた課題】

漁業就業者の高齢化が進んでいる富江地区は、人手不足が深刻で、海岸管理が行き届かない状況である。そのため、今後は新たな漁業就業者の人員確保が課題となる。

## 【生じた課題への対応方法】

若者への呼びかけ  
漁場の清掃活動を行う。

## 【取り組みの効果】

漁業就業者の確保による必要な多様な環境整備の着実な推進

若者等の定着による富江地区の活性化

## 【今後の展望】

地域における雇用の創出や漁家所得の向上だけでなく、地域の活性化に繋げる。

## 成功のポイント

集落の漁業者が連携し、地域が一体となって取り組んだこと  
メンバー全員がきれいな漁場の環境づくりを目指すことの意識が高く行動できたこと。